

地域活動報告



横浜

ボイス・オブ・ユース - 青少年の主張 -

横浜市南区青少年指導員協議会 山崎 直宏

令和5年12月3日午後、南区公会堂（みなみん）で第43回ボイス・オブ・ユースが、4年ぶりにコロナ前の形式で開催されました。約1700通の作文を、私たち青少年指導員が3か月かけて読み合わせ、68編の入選作を選び、この日は入選者の表彰式と数編の作文朗読発表を行いました。

受付、会場案内、司会、介添え、放送、音響を地域小中学生のボランティアにお手伝いいただき、私たち大人と地域子どもたちが一緒になって作り上げたこの会は、満場の拍手の元、大成功で無事閉会を迎えました。入選作文は、今の子どもたちの思いや悩み、喜びが素直に文章としてつづられた作文集として、各連合町内会や学校等にも配布しています。

今年も無事にやり終えましたが、諸先輩から受け継いだこの事業をこれからも末永く続けていかなければと、決意を新たにしました。

横須賀
三浦

令和5年度の主な活動内容

鎌倉市青少年指導員連絡協議会 小野田 康成

今年度はコロナによる規制も緩和され、3つの大きな事業を実施することができました。5月には材木座海岸で「子ども凧あげ大会」を開催し、大勢の子どもたちに日本の伝統文化を経験してもらいました。また、10月には約60名の子どもたちを連れて「愛川ふれあいの村」で一泊二日の「子どもキャンプ」を実施、参加希望者が100名を超える人気事業となっています。そして、11月には「作文コンクール」を実施し、表彰式を鎌倉市市議会議場で執り行いました。

その他「小学生新聞おもちゃ箱」や「青少年指導員だより」の発行、「ギャラリー展示」などで情報発信を行っており、コロナ前とほぼ同じ規模での活動を行うことができました。

しかし、青少年指導員の人数は年々減少しており、定員の7割以下の人数で各事業を実施しているのが現状です。より多くの青少年指導員を確保すべく、充実した情報発信を現在検討中です。





湘南

愛の声かけ、パトロール

藤沢市青少年指導員協議会 猪野 恭子

藤沢市青少年指導員協議会は、健全育成・非行防止を2本の柱として活動しています。

そのうち非行防止活動においては、市内14地区で月2回の地区パトロールを実施しています。登下校の見守りや、公園で遊んでいる子どもたちに早期帰宅の声かけをし、「いつも見守っているよ」というメッセージを送ります。

また、長期休みの前には乗降客の多い藤沢駅・湘南台駅で街頭指導キャンペーンを実施し、関係団体の皆様と共に、啓発物品を渡しながらか非行防止を呼びかけます。今年度は辻堂駅でも実施し、たくさんの方に声かけを行うことができました。



県西

松田町文化祭でペーパークラフト体験

松田町青少年指導員会 岩田 雄二

松田町では、青少年指導員会に12名が所属しています。コロナ禍で活動できない状態が続きましたが、今年度の私たちの主な活動として、「ジュニアキャンプ教室」「防災体験キャンプ」「はたちの集い」などを実施しました。また、10月28日(土)松田町文化祭では「ペーパークラフト体験」を企画し実施しました。

開場前に青少年指導員の方々も難しい見本作品の制作に四苦八苦しながら挑戦しました。小学生や就学前の親子の参加も多くみられ、小さな手に大きなハサミを持ち指導員に聞きながら難しい作品を集中して完成させた誇らしげな姿が見受けられました。

「難しいけど完成できた!」「楽しかった!」「来年もやりたい」という声があちこちで聞かれました。子どもたちの達成感や笑顔に触れ、これからの青少年指導員活動に活かしていきたいと思えます。

